

第1章 情報社会と私たち

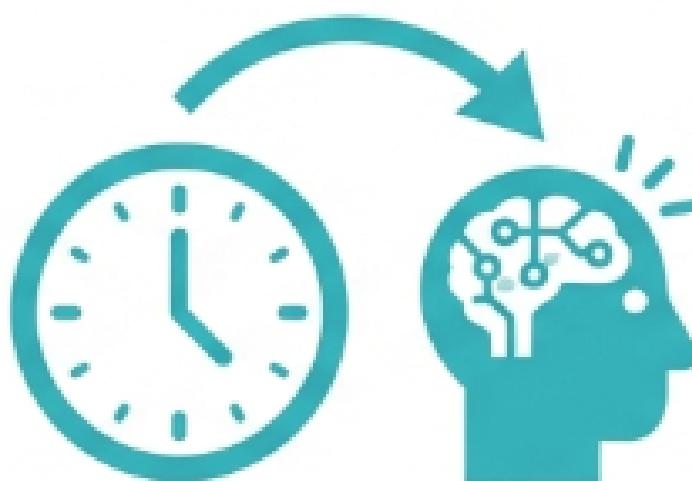
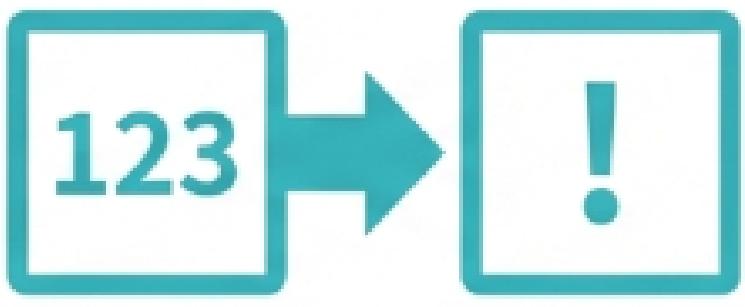
1節 情報社会

情報社会と情報



今回のゴール

「データ・情報・知識」と
「Society5.0」を完璧に
マスターする！



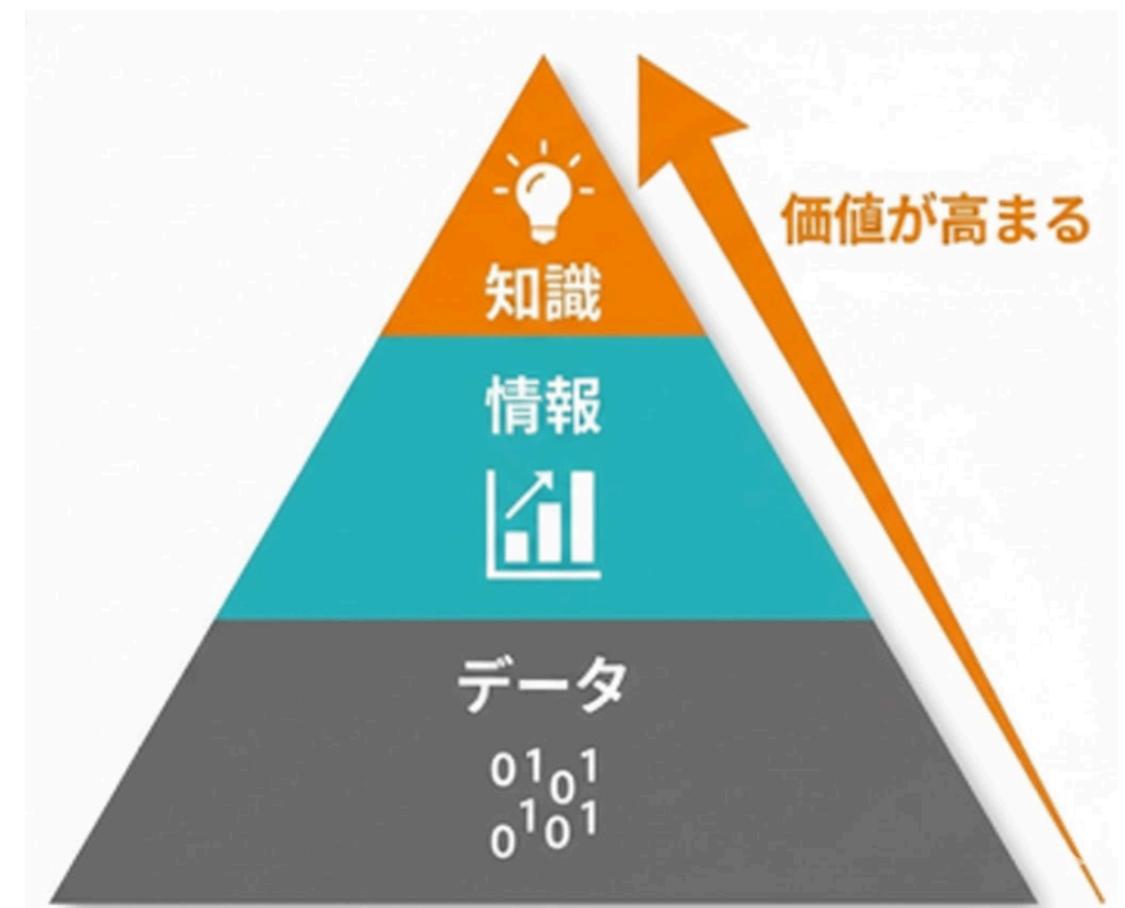
情報 (Information) とは？

- 定義：（ ）
で、受け手に何らかの意味を伝えるもの。
- 役割：私たちが何らかの行動や意思を決定する際の（ ）となる事柄。
- 具体例：
 - 商品のカタログスペック(事実:データ)
 - 購入者のレビューや評価(判断材料:情報)
 - 最終的な購入決定 (意思決定)



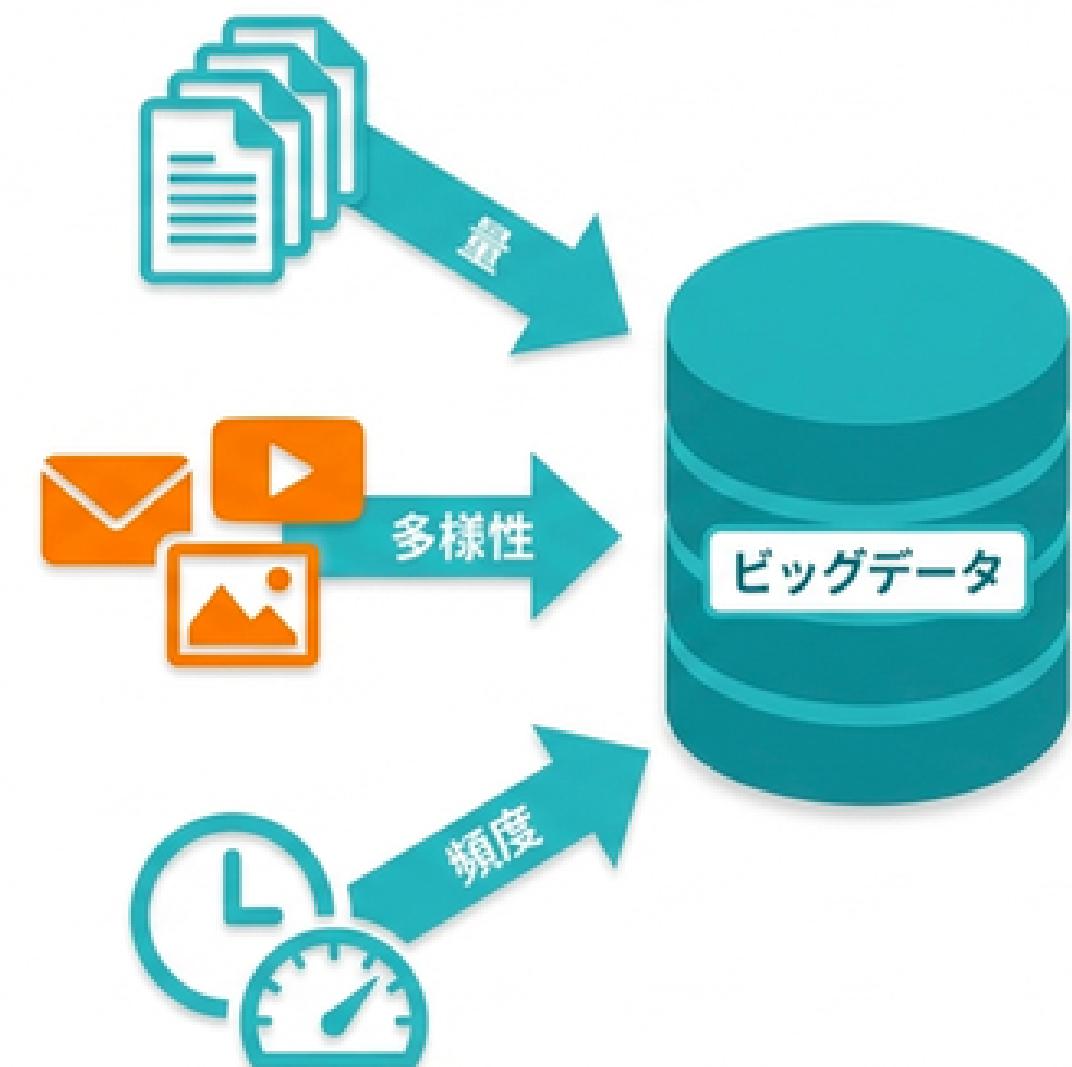
データ・情報・知識の階層

- ・ ()：実験、観察、調査などで得られた「事実」。
- ・ ()：データを整理・加工し意味を持たせたもの。
- ・ ()：情報を分析・体系化し、問題解決に役立つようにしたもの。



データを情報に変え、知識として蓄積することで社会の問題を解決

- 情報技術の発達により蓄積・解析が可能になった（）データの集合体
 - （）：個人の活動やセンサーから発生する膨大なデータ量。
 - （）：テキスト、画像、音声、動画、ログなどの多様な形式。
 - （）：リアルタイムで刻々と収集・更新されるスピード。
- 電子メールやSNS投稿など形式が定まっていない「非構造化データ」も含む。



情報による価値創造のサイクル

- ・データ収集：人、モノ、自然、社会から収集。
- ・蓄積・解析：ビッグデータとして蓄積。
- ・知識創出：新しい知見や技術を得る。
- ・問題解決：社会課題を解決し、価値を生む。



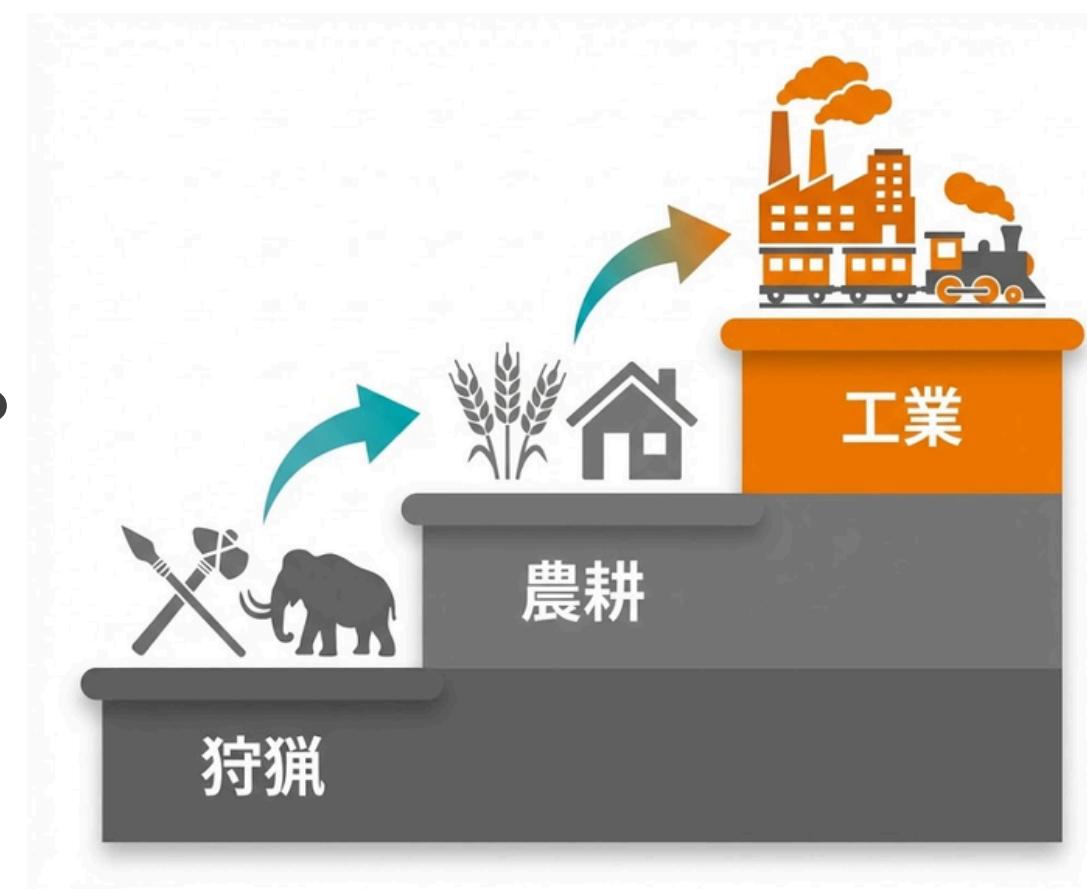
経済成長、社会発展、教育・研究の充実につながる

2

社会の発展段階（第1～3段階）



- 第1段階：（ ）社会
 - 狩猟・採集。石斧、弓矢、言葉。
- 第2段階：（ ）社会
 - 定住・栽培。文字、天文学、かんがい技術。
- 第3段階：（ ）社会
 - 18世紀半ば、イギリスで産業革命。蒸気機関、工場での大量生産。

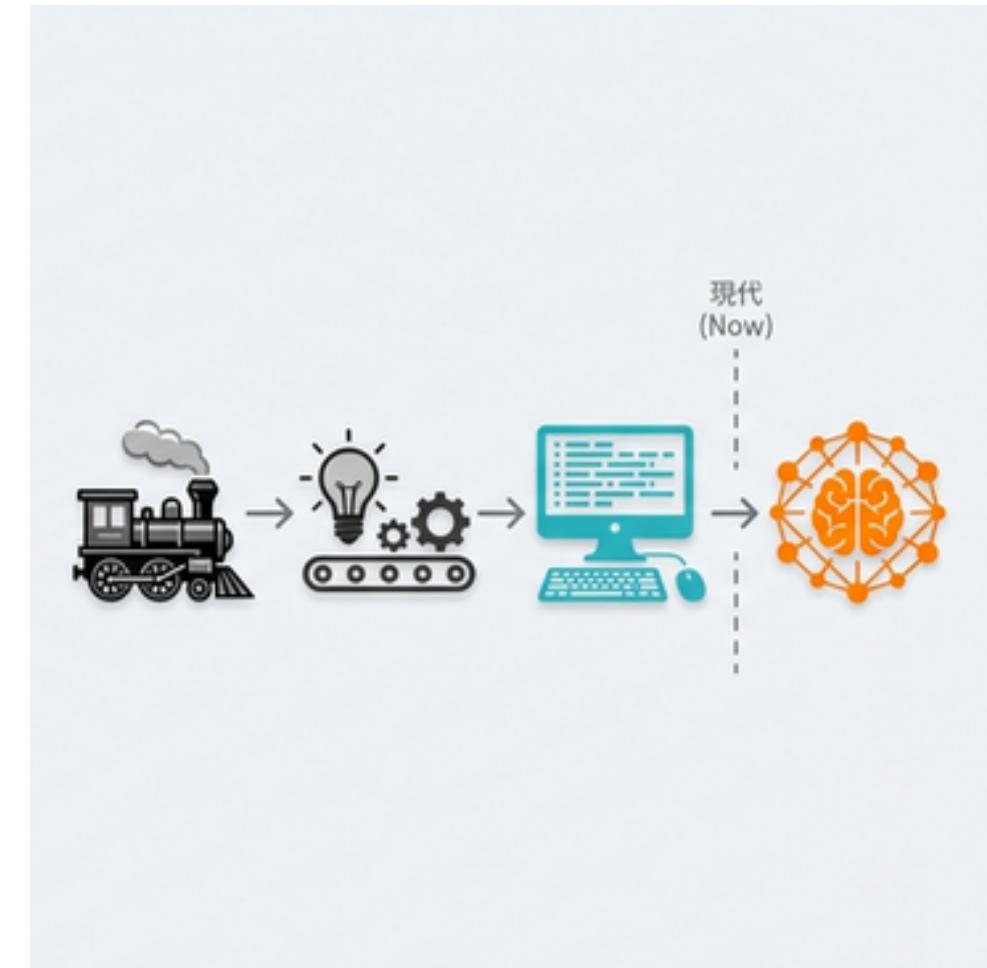


2

産業革命の4段階



- ・第1次産業革命：蒸気機関による機械化。
- ・第2次産業革命：電力・石油による大量生産。
- ・第3次産業革命：コンピュータによる自動化。
- 第4段階：() **社会**が到来。
- ・第4次産業革命：AI・IoT・ビッグデータによる自律化。
- 現在に至る。



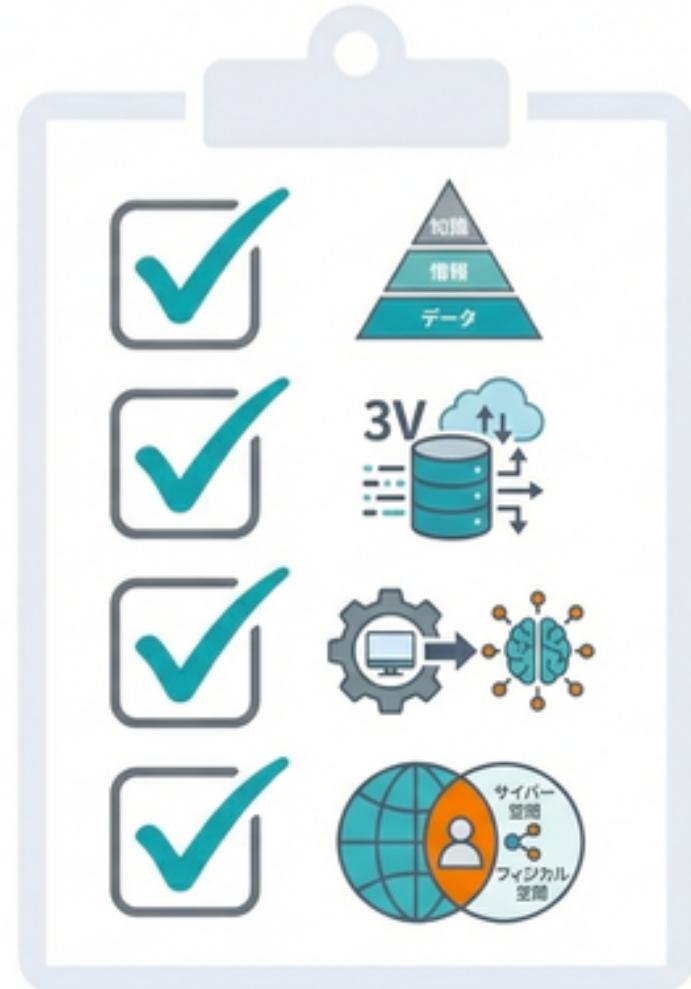
- 定義：（ ）空間（仮想空間）と（ ）空間（現実空間）を高度に融合させたシステム。
- 目的：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新しい情報社会を目指す。



狩猟→農耕→工業→情報で、次は（ ）のSociety5.0へ！

今回のまとめ

- () は「事実」、() は「判断材料」、
() は「解決策」。
- この3段階 (データ→情報→知識) の理解が基本。
- 現代は 「 」 を活用して問題を解決する時代。
- 人類は 「 → → → 」 と進化してきた。
- 次に来る未来社会が 「 」 。
- Society 5.0のカギは 「 (サイバー) 」 と 「 (フィジカル) 」 の融合。



君ならできます！
頑張って！